

# リサーチインサイト

2020 年 9 月 17 日

## 鉱業と SDGs:

### 重要性との不一致への対処方法

世界最大級の鉱業会社のほとんどが、今では持続可能性報告書で国連の持続可能な開発目標（SDGs）について言及しています。全 17 の SDGs と強いつながりが指摘できる数少ないセクターのうちの一つがこのように取り上げていることは心強いことです。しかし、SDG 関連の報告書の多くは表面的なものであり、困ったことには、企業が SDGs の達成に与えるマイナスの影響について公表されているものはほとんどありません。企業が SDGs への影響を故意に誤って伝えているという証拠はありませんが、報告書がバランスを欠いたものであり続ける限り、「SDG ウォッシング」の非難が続くかもしれません。また、報告書以外にも、大規模な鉱業会社が SDGs の達成に貢献する実際的な措置を講じているという証拠は限られています。

はじめに

2030 年の SDGs の達成期限まであと 10 年、Responsible Mining Foundation（責任ある鉱業財団）と Columbia Center on Sustainable Investment（コロンビア持続可能投資センター）は SDGs をビジネス戦略に統合し、これらの目標の達成に資する積極的な対策を講じるために、大規模鉱山会社が現在行っていることについての[最新状況報告](#)を正式発表しました。この報告書は、採掘を SDGs にマッピングした 2016 年[のアトラス](#)<sup>1</sup>に続き、ほとんどの鉱業会社は依然として、SDGs の実現に役立つ潜在力を十分に発揮するのに必要な戦略的ステップを実行するにあたり大きな改善余地があると結論付けています。

この報告書では、大規模な採掘と SDGs の相互関係に焦点を当てていますが、同様に 17 すべての SDGs にプラスおよびマイナスの影響を与え得る零細および小規模な採掘（ASM）セクターにも大きな類似性が見られます。<sup>2</sup>

SDGs に対する大規模鉱業会社の行動の範囲に関する知見は、Responsible Mining Foundation の[RMI Report 2020](#)の結果に基づくものです。RMI Report 2020 は、地理的に分散した 38 の大規模鉱業会社のポリシー、慣行および鉱区レベルの行動を評価する

もので、これら鉱業会社は世界の鉱業生産価値の約 28%を占めています。

38 の鉱業会社の実例のうち他社よりも比較的優れた成果を出している企業がいくつかあります。しかし、企業が実施しているという SDG を支援する手段と、それら同じ SDGs の優先順位付けの仕方との間には顕著なずれがあります。たとえば、SDG 3（すべての人に健康と福祉を）と SDG 6（安全な水とトイレを世界中に）はどちらも最も頻繁に優先される SDGs の一つであり、重要性分析で大きく注目されますが、鉱山会社による行動レベルが最も弱いことを示しています。

### 企業は重要と評価するもののしばしば限定的な行動を示す SDGs の 3 つの例

このリサーチインサイトでは、多くの鉱業会社、株主、投資家、貸手の「重大」問題のリストに長年記載されてきた次の 3 つのトピックについての調査結果を分析します。すなわち、コミュニティ、水およびジェンダーの 3 つのトピックです。これらはいずれも、採掘会社が対応しているものと、SDGs で定めているように社会が期待するものとの間に大きなギャップを示しています。

#### SDG 3: すべての人に健康と福祉を



SDG 3 は、一つの SDG が、元の意図や目標との関連性が非常に限定されている活動に誤って対応づけ得るものの良い例です。ほとんどの鉱業会社や団体<sup>3</sup>は、労働安全衛生（OSH）に関するポリシーや実施を通じて SDG 3 への貢献の大部分を実現しようとしています。何十年にわたり多くの鉱山会社では、死亡や事故の削減は当然ながら優先され、「重大な」問題でした。

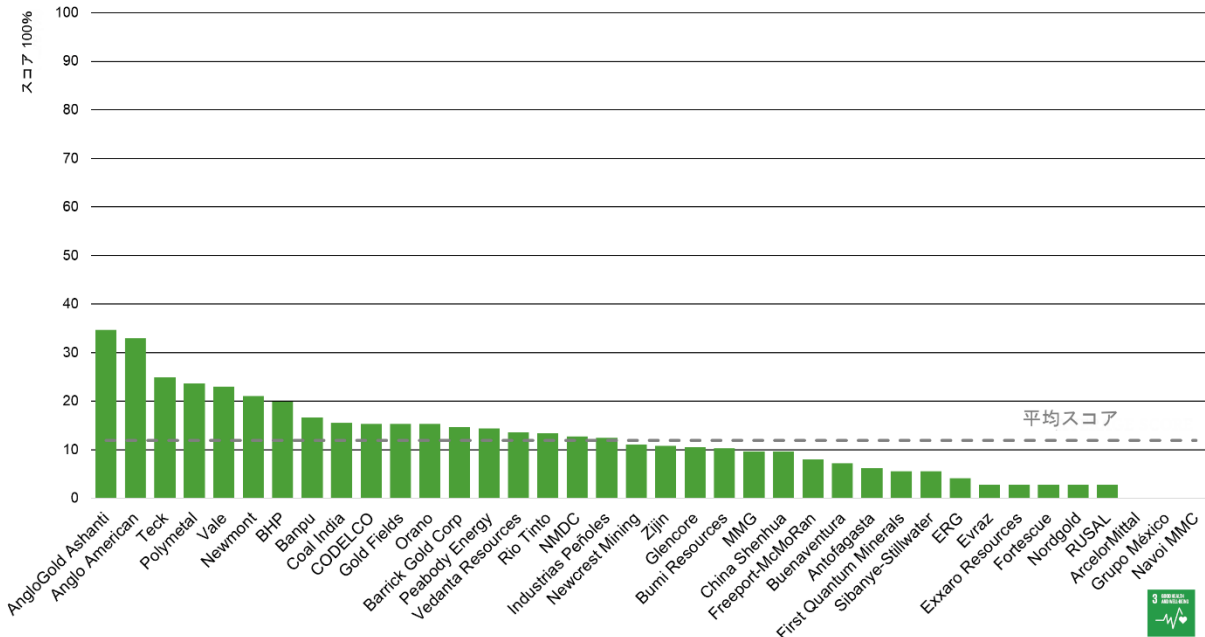
しかし、OSH の一部の側面は SDG 3 に関連しているものの（たとえば、職場におけるエイズや結核、感染症、すべての人の健康状態、有害な化学物質の管理など）、OSH は経済成長や雇用、ディーセント・ワークについての SDG 8 でより明確に対処されています。<sup>4</sup> 鉱業の観点からは、SDG 3 は影響を受けるコミュニティの保健に重点を置いています。

また、多くの企業は、地域の医療インフラストラクチャやスタッフ（病院の建設、看護師と医師のトレーニングとその数など）について（直接または間接的に）支援していることを報告していますが、地域保健に対する活動の影響に関する明確な情報を見つけるのは非常に困難です。

実際、RMI Report 2020 では、企業の業務がどの程度地域保健に対する影響を定期的に評価して公表し、これらの影響を管理するための計画を実施しているかの指標は最も低いスコアの一つであり、評価した企業 38 社の平均スコアはわずか 8%でした。この指標でスコア 0 であった企業が 22 社あり、関連する証拠は見つかりませんでした。

RMI Report 2020 での SDG 3 に関連する 6 つの指標すべての結果を考慮すると、企業の全体平均スコアはわずか 12%でした（図 1 参照）。これは、女性労働者の健康サービスの提供、危険物管理、水質管理、大気質監視などの行動に関連しています。

図1 SDG 3に寄与する企業の対策のエビデンス（すべての人に健康と福祉を）（RMI Report 2020で評価した38社の平均結果）



## SDG 6: 安全な水とトイレを世界中に



SDG 6は、鉱業界にとっても困難な側面を持っています。SDG 3の場合と同様に鉱業会社は、水とトイレに関するコミュニティプロジェクトの中ではSDG 6への積極的な貢献をしばしば公表しますが、企業が水への潜在的な悪影響に体系的に対処したり、その事業が現場や下流の水質にもたらす影響に関するデータを開示している証拠はほとんどありません。

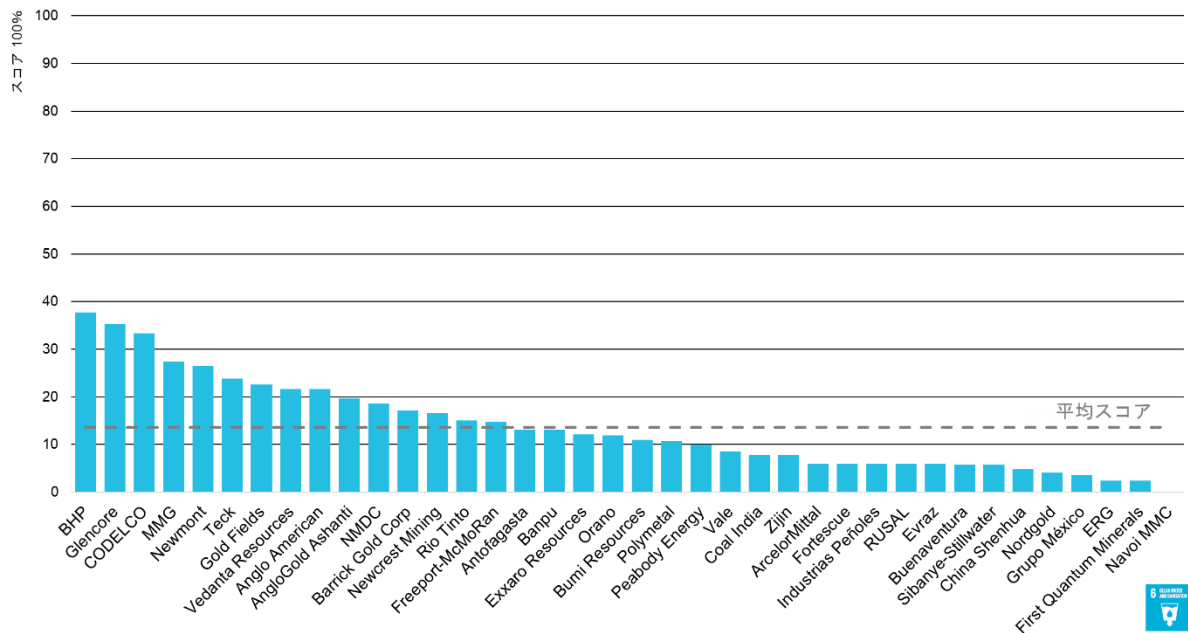
S&P Globalによれば、SDG 6は、鉱業会社がマイナスの影響を及ぼすリスクが最も高い3つのSDGsの一つであることから（他はSDG 14: 海の豊かさを守ろうと、SDG 15: 陸の豊かさを守ろう）、このことは特に懸念されます。<sup>5</sup>

また注意すべきことは、川や湖、海洋環境での鉱滓（採掘廃棄物）の廃棄はSDG 6と14の両方にとって脅威となるにもかかわらず、RMI Report 2020では1社のみがこの廃棄方法を用いないための正式な取り組みを行っていることを示しているに過ぎないことです。他の37社はそのような取り組みの証拠はなく、少なくとも8社は鉱滓を川や海洋環境に積極的に排出しているか、または海底に保管しています。

全体として、多くの会社では次のような対策の証拠はほとんどまたはまったく見られませんでした：水質および水量への悪影響を低減する上での成果を改善するための追跡、確認および行動；水質に関する鉱山現場レベルのデータの開示；他の水利用者と協議しての水管理戦略の設計および実施。

RMI Report 2020でのSDG 6に関連する7つの指標すべての結果を考慮すると、企業の全体平均スコアはわずか14%でした（図2参照）。

図 2 SDG 6（安全な水とトイレを世界中に）に寄与する企業の対策のエビデンス  
RMI Report 2020で評価した38社の平均結果



## SDG 5: ジェンダー平等とすべての女性のエンパワーメントを実現しよう

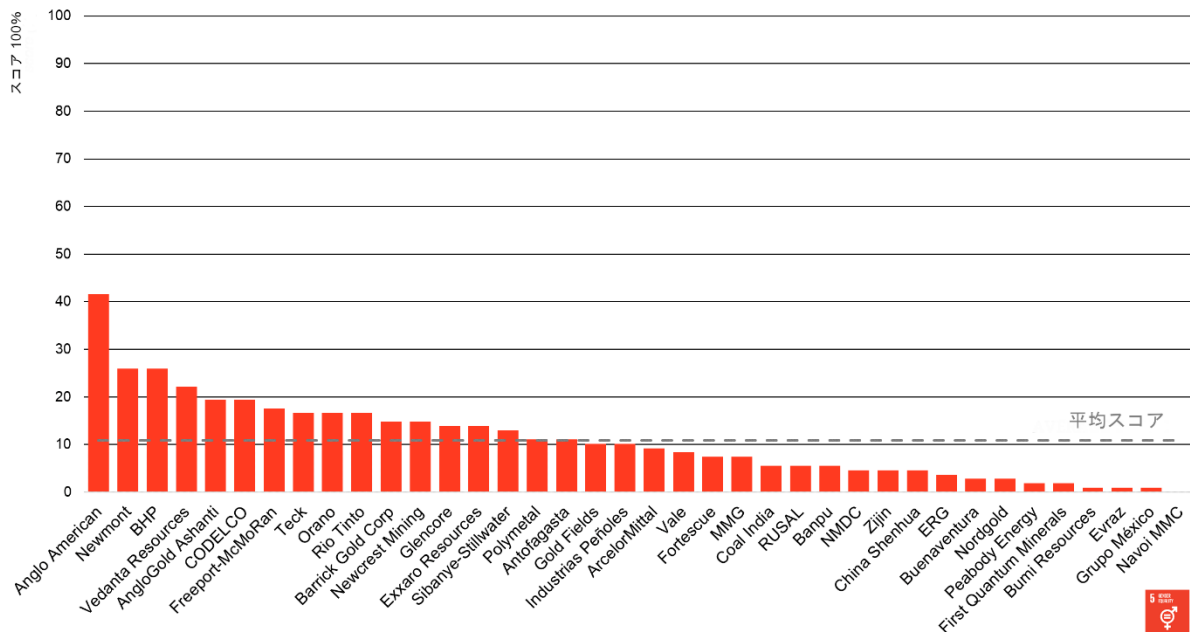


ジェンダーの不平等は長年にわたって鉱業に関する会議やイベント、ワークショップの議題になってきました。また、SDG 5のアイコンは、評価対象企業の半数以上の企業レポートに記載されています。しかし、RMI Report 2020の結果は最も重要な行動が不足していることを示しています。

男女平等に関する対策の欠如は、鉱山会社が取締役会や上級管理チームのジェンダーバランスを改善するプログラムの中ではSDG 5への積極的な貢献について頻繁に言及しているという事実と対照的です。これらのプログラムは重要ですが、企業は、女性労働者にジェンダーに配慮したPPEを確保することや、女性主導の事業体が現地調達支援活動から除外されないようにすることなど、より基本的な事項について、鉱業労働者や鉱業の影響を受けるコミュニティにおける男女平等に対する悪影響を避けるための行動が非常に少なくなっています。

全体として、鉱業会社で次の対策のエビデンスが欠けています：ハラスメントやジェンダーから生じる暴力からの女性労働者の保護；女性労働者にジェンダーに配慮した個人用保護具（PPE）の提供；鉱山の影響を受けたコミュニティでジェンダー影響評価の実施；地元の事業開発と地元の調達支援活動に女性起業家と女性主導の企業を含めること。RMI Report 2020でのSDG 5に関連する9つの指標すべての結果を考慮すると、企業の全体平均スコアはわずか11%でした（図3参照）。

図3 SDG 5（ジェンダー平等を実現しよう）に寄与する企業の対策のエビデンス  
RMI Report 2020で評価した38社の平均結果



## リーディングプラクティスと透明性ある対策の励みになる例

■ ブラジルの Serra Azul 鉱山では、ArcelorMittal 社が、職場での健康と安全の共同責任というコンセプトのもとに、アルコールやその他の薬物の乱用が職業上の安全や一般的な健康問題についてもたらす結果に対する従業員の意識を高めることを目的としたプログラムを開発しました。このように全従業員と経営陣が関与することにより、アルコールおよび薬物検査の陽性結果が大幅に減少し、最終的に欠勤や休業日数が減少しました。(SDG 3)

■ オーストラリアのマウントアイザ鉱山では、Glencore 社がスマートフォンアプリとオンラインのリアルタイム大気質ポータルを開発し、コミュニティが包括的大気質監視ネットワークにアクセスできるようにしました。(SDG 3)

■ Codelco 社は 2015 年にジェンダー多様性戦略を採択しました。現場での実践的な行動として、男女別の更衣室やバスルーム、母乳の搾乳・保管のための部屋、男女別の個人用保護具など、男性同様に女性（妊娠中の女性を含む）のための安全で衛生的かつ快適な環境を提供するためのインフラの整備などがあります。(SDG 5)

■ チリのアントファガスタの Los Pelambres 鉱山は 10 年間にわたり、地表および地下水における銅、モリブデン、大腸菌、糞便大腸菌、硫酸のレベル（および地表水の鉄レベル）について、7 箇所の地表水および 3 箇所の地下水監視ポイントでオンラインデータを提供しています。(SDG 6)



## 推奨事項

SDGs は、企業が鉱山現場周辺の地域や事業を展開する国で果たすことができる、発展的かつ変革的な役割を反映する有用な鏡となります。このことを念頭に置いて、企業は、SDGs に対するコミットメントと行動を示すのに役立つ次の実際的なステップを検討することが求められます。

- 1. 責任ある採掘をビジネスモデルとして示すこと。**  
企業は、付随的な取り組みとしてではなく、通常のビジネス業務の一部として SDGs についてリーダーシップを示すことができます。
- 2. 持続可能性の階層内でのステータスを上げること。**  
より強力なガバナンス、説明責任およびシグナリングのために、サステナビリティを経営幹部にまで持ち込むこと。CEO に最高サステナビリティ責任者の役割を割り当てることを検討すること。
- 3. リソース・サステナビリティ部門。**  
持続可能性部門を充実させ、組織全体にわたって勢いを生むために、企業レベルと運用レベルの両方で十分な人材、リソースおよび影響力を確保すること。
- 4. 勇気あるリーダーシップを示し、意欲的な才能ある人材を引き付けること。**  
企業は、経済、環境、社会およびガバナンスの問題と SDGs に取り組むにあたり直面する課題についてオープンであることにより、長期的により強い信頼と尊敬を獲得することができます。SDGs に関する誠実でバランスの取れた報告と勇気ある目標は、やる気と才能のあるスタッフを保持し、引き付けます。
- 5. SDGs を経済、環境、社会およびガバナンスの問題に関する既存の業務に統合すること**  
責任ある採掘方針と実践をすでに導入している企業は、SDGs をビジネス戦略、コーポレートガバナンスおよび持続可能性の監視と報告のプロセスに有意義に統合することを示すことにより、さらに先へ進むことができます。重要なのは、SDG は企業にとって、経済、環境、社会およびガバナンスの問題に対する取り組みを超える追加の要件ではありません。SDG の問題に対する効果的な行動は、責任ある採掘における効果的な成果につながります。
- 6. SDG の目標と指標フレームワークを活用して、革新的かつ測定可能な SDG 行動の目標を設定すること。**  
SDGs は、指標と目標フレームワークによるデータ駆動です。SDG を一連のオプションメニューとして見るのではなく、その目標をフレームワークとして使い、ベースラインと革新的で野心的な定量的目標に向けてその成果を測定し、2030 年以降の進捗を促進・追跡します。

**7. SDG をサポートする行動を会社全体に一貫して適用すること。**

企業は、他の企業の優れた実践から学び、事業全体の自社ポートフォリオ内から優れた例を増幅させることができます。前向きなケーススタディは刺激になりますが、同じ会社の鉱山現場であっても、そのすべてにわたってそれを模範とし、標準化する必要があります。

**8. SDG に関連する活動に関する公益データポイントを開示すること。**

企業は次のことを積極的に開示することができます：（1）経済、環境、社会およびガバナンスの問題の管理を通じて SDGs に関連して企業が取っている行動；（2）そのポジティブな行動に関する情報、そのマイナス影響に関するデータ、および緩和策の説明；（3）成果監視の結果と成果を改善するために行っている取り組み。

**9. 「SDG 行動の 10 年」のはずみを利用して、社会、次世代、そして鉱業の変革を実行すること。**

<sup>1</sup> UNDP, CCSI, SDSN, WEF (2016). Mapping Mining to the Sustainable Development Goals: A Preliminary Atlas. (<http://ccsi.columbia.edu/2016/07/19/mapping-mining-to-the-sustainable-development-goals-an-atlas/>)

<sup>2</sup> デラウェア大学（鉱物・材料・社会プログラム）と PACT の連携(2020). Mapping Artisanal and Small-Scale Mining to the Sustainable Development Goals. (まもなくオンラインで利用可能 : (<https://www.pactworld.org/library/mapping-artisanal-and-small-scale-mining-sustainable-development-goals> および [https://cpb-us-w2.wpmucdn.com/sites.udel.edu/dist/6/7985/files/2020/09/ASM-SDG\\_Policy\\_Assessment\\_Delaware-Pact.pdf](https://cpb-us-w2.wpmucdn.com/sites.udel.edu/dist/6/7985/files/2020/09/ASM-SDG_Policy_Assessment_Delaware-Pact.pdf))

<sup>3</sup> ICMM (2017). “Mining with Principles” , 次から図がご覧になれます <https://www.icmm.com/en-gb/metals-and-minerals/making-a-positive-contribution/sdgs>

<sup>4</sup> SDG 8、すべての人のために、包括的で持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークの促進を参照 : <https://www.un.org/sustainabledevelopment/economic-growth/>

<sup>5</sup> Trucost (2020). Sustainable Development Goals (SDGs): Emerging Trends and Analysis of the SDG Impact of Companies in the S&P 500. (<https://www.spglobal.com/marketintelligence/en/documents/sp-emerging-trends-and-analysis-05-002.pdf>)



## Responsible Mining Foundation

Responsible Mining Foundation (RMF)（責任ある鉱業財団）は、ツールと枠組みを開発し、公共の利益となる研究の成果とデータを共有し、企業と他の利害関係者との間の情報に基づく建設的な関与を可能にすることにより、責任ある採掘バリューチェーンの継続的な改善を促す独立研究組織です。

独立した財団として、RMF は、採掘産業界から資金その他の寄付を受け付けていません。

[www.responsibleminingfoundation.org](http://www.responsibleminingfoundation.org)

### 免責事項

このレポート内の知見、結論および解釈は、Responsible Mining Foundation (RMF)、Columbia Center on Sustainable Investment（コロンビア持続可能投資センター）、および本レポートの協議および顧問として参加した人々の資金提供者、受託者、および従業員の見解を表すものではありません。

この出版物は情報提供のみを目的としたものであり、販売促進資料として利用することを意図したものでは決してありません。また、会計、法務、税務または投資に関する助言や推奨事項を提供することを目的としたものではなく、何らかの金融商品の購入または販売の申し出または勧誘を目的とするものではありません。

翻訳の正確さを検証するためあらゆる努力を払っていますが、英語版を決定版とみなすものとします。

### 著作権情報

すべてのデータおよび記述された内容は、Creative Commons Attribution-Non-Commercial 4.0 International License (CC BY-NC 4.0) に基づきライセンスされています。



利用者はその内容を自由に共有および編成できますが、適切なクレジットを表示し、ライセンスへのリンクを記載するとともに、変更が行われた場合はその旨示す必要があります。ライセンスされた内容は、営利目的で、または差別、侮辱または歪曲する目的で使用してはなりません。引用する場合、次のとおり出典を明記すること：  
(2020)『*鉱業と SDGs: 重要性との不一致への対処方法*』。

[www.responsibleminingfoundation.org](http://www.responsibleminingfoundation.org)



Responsible  
Mining Foundation